



# 第26号

平成18年 8月10日発行  
千葉県漁業士会銚子支部  
＜事務局＞  
千葉県銚子水産事務所 改良普及課

## 銚子

### 第12回きんめだい祭り

平成18年7月16日 銚子マリーナ(銚子市)で第12回きんめだい祭りが開催されました。

梅雨明けが遅れていましたが、祭りの当日は天候にも恵まれ、県外からも多くの人々が来場し、堂本知事も来てくださいました。堂本知事は昨年続き、今年で3度目の来場となり、銚子のキンメダイの大ファンだそうです。挨拶では両手に超特大のキンメダイを持ち上げて、日本一のキンメダイをPRしてくださいました。



キンメダイ鮮魚販売に用意した1万2000尾はアツという間に完売し、キンメダイ煮付けやイワシつみれ汁の試食コーナーも大人気でした。



クイズ形式で資源管理や標識放流調査などの漁業者が取り組んでいる活動を紹介する「きんめ資料館」にも多くの人々が来てくれました。

たった一日ですが、直売やクイズコーナーなどを通して漁業者と消費者との交流ができました。

## 海 匠

### ハマグリ稚貝の移植放流

九十九里浜のチョウセンハマグリは重要な漁業資源です。

今年の春、九十九里浜ではチョウセンハマグリの子貝が多く出現しました。そこで資源の維持増大を図るため、海匠漁協(貝捲船団)は4月に県の特別採捕許可を得て、稚貝の移植放流をおこないました。



浅いところにいる稚貝を貝まき漁具(腰カッター)を用いて採捕し、漁船を使用して保護区にしている海域に放流しました。

数年後、大きくなったチョウセンハマグリがたくさん漁獲できることを期待します。



なお、千葉県海面漁業調整規則により千葉県海面では殻長5cm以下のチョウセンハマグリは採捕できません。また、漁業権が設定されているので、チョウセンハマグリを一般の人が採捕することはできません。ご注意ください。

## 銚子

### 水産業表彰

平成18年7月20日に、千葉県庁で平成18年度千葉県水産業功労賞の表彰式が行われました。今年、銚子市漁業協同組合外川地区の指導漁業士 山口廣志さん(山進丸)が受賞しました。表彰式にはご夫婦で出席され、堂本知事から表彰状と記念メダルを授与されました。

山口さんは、長年にわたり銚子沖のキンメダイの資源管理に取り組むとともに、積極的に銚子のキンメダイの宣伝活動を行い、消費拡大、魚価向上に努めてきました。これらの功績を受けて、今回の表彰となりました。

山口さんは「今回の受賞は私一人のものではなく、外川の全員がもらったもの」とお話しされ、今後の活動に向け決意を新たにされている様子でした。



写真 堂本知事を中央に記念撮影する山口指導漁業士夫妻

## 全 域

### 青少年水産教室

小学校では、5年生の社会科学習授業で水産業を学びます。漁業士は青少年水産教室の講師として、地域漁業の学習に協力をしています。

平成18年6月20日には青年漁業士 小畑輝明さん(照丸)が明神小学校(銚子市)で、小型底びき網漁業の操業の様子や小さな魚を逃がす工夫をした漁具の話をしました。



また、6月27日には青年漁業士 田邊克己さん(田辺丸)が双葉小学校(銚子市)でキンメダイ漁の操業方法や資源を守るための操業ルールの話をしました。

生徒たちは、実物の漁具や魚を見せながらの話を熱心に聞き、授業終了後にはたくさんの質問が飛び出しました。



後日、生徒たちからお礼の手紙が届き、「いつも普通に食べている魚をどうやってつかまえているかわかりました。」や「魚のことをもっと知りたくなりました。」など、たくさんの感想をいただきました。

全 域

## ヒラメ放流・マダイ中間育成

### ①ヒラメ種苗放流

平成 18 年 6 月 16 日から管内の各地域(銚子～九十九里)において、ヒラメの種苗放流がおこなわれました。

千葉県水産総合研究センター種苗生産研究所で種苗生産され、(財)千葉県水産振興公社で中間育成されたヒラメ種苗(全長 80mm)が元気よく海に旅立ちました。(管内合計 約 16 万尾)



### ②マダイ中間育成

平成 18 年 7 月 20 日から飯岡漁港、銚子漁港、外川漁港の順にマダイの中間育成が始まりました。受入時、全長 30mm のマダイを 30 日間育成し、平均全長 60mm まで育てます。

なお、九十九里町漁協(片貝漁港)のマダイの中間育成は、昨年到现在も休止しています。



銚 子

## 新しい漁業実習船「千潮丸」

平成 18 年 7 月 20 日に竣工した漁業実習船「千潮丸」が、一般公開のため、8 月 1 日銚子漁港にやってきました。

「千潮丸」は県立銚子水産高校、安房水産高校及び勝浦若潮高校の乗船実習に使用され、2ヶ月にわたる遠洋航海実習ではハワイ沖マグロはえ縄漁に活用されます。

最新鋭船の特徴として、船内 LAN の構築により、位置や速度等の航海情報や各種機器の運転情報が実習生のパソコンで随時モニタリングすることが可能となり、衛星通信回線の利用により画像等の情報を船から学校や家庭へ送信することもできます。

また、船の横揺れを軽減する減揺装置(アンチローリングタンク)の設置や女子生徒が乗船してもプライバシーが守られる居室等の整備により、生活環境の配慮がなされています。

<千潮丸の概要>

総トン数 499 トン  
登録長 50.25m 幅(型) 9.50m  
速力(航海) 約 12.5 ノット  
最大搭載人員 63 名  
(船員 23 名 生徒 36 名 教官 4 名)



事務局

## お 知 ら せ

### ①千葉の海 黒潮スタンプラリー

千葉県では、都市に住む人たちに房総半島の豊かな自然や新鮮な水産物を満喫していただくため、銚子市から勝浦市にある民宿・漁業体験・直売所をめぐる「千葉の海黒潮スタンプラリー」を実施しています。

九十九里浜の地びき網やイルカウォッチングなどを体験し、漁協直売所で新鮮な水産物を味わってみてはどうでしょう。

応募期間は 11 月 30 日(木)まで(消印有効)  
<問い合わせ先>

千葉県農林水産部水産局水産課  
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1  
TEL 043-223-3045 (担当 振興室)



### ②水産総合研究センターの一般公開

千葉県水産総合研究センター(南房総市)では平成 18 年 8 月 26 日(土) 午前 10 時～午後 3 時まで一般公開を行います。

今年は「タイの生態や漁業、種苗生産など」を特集します。また、漁業調査船「ふさみ丸」の見学や水産加工品「寒天」作り体験などもあります。

<問い合わせ先>

千葉県水産総合研究センター  
〒295-0024  
南房総市千倉町平磯 2492  
TEL 0470-43-1111  
(担当 企画調整室)



写真 昨年の様子

事務局

## 事務局の人事異動

平成 18 年 4 月の人事異動により、事務局である銚子水産事務所の職員が変わりました。

前任の山崎所長が県庁農林水産部水産局水産課へ異動になり、振興室で水産物のブランド化推進などをおこないます。また河野普及課長も県庁水産課へ異動になり、企画指導室で水産業普及指導員の総括をおこないます。

後任に県庁水産課より塩野所長と水産総合研究センターより加藤普及指導員が着任いたしました。

塩野所長



「久しぶりに(22年ぶり)銚子・九十九里の普及を担当することになりました。資源管理に加え、ブランド化や流通などについて漁師の皆さんと十分に話し合い経営安定につなげていきたいと考えています。所長室はいつでも歓迎です、お気軽にお立ち寄りください。」

加藤普及指導員



「千倉の水産総合研究センターから異動してきました。主に銚子市外川地区での普及活動と沿岸漁業改善資金の担当をしています。浜で見かけたら気軽に声をかけてください。」

ご意見やご感想、情報提供などありましたら、  
千葉県銚子水産事務所 改良普及課までご連絡ください。

連絡先：電話 0479-22-8397 (代)

FAX 0479-22-9168